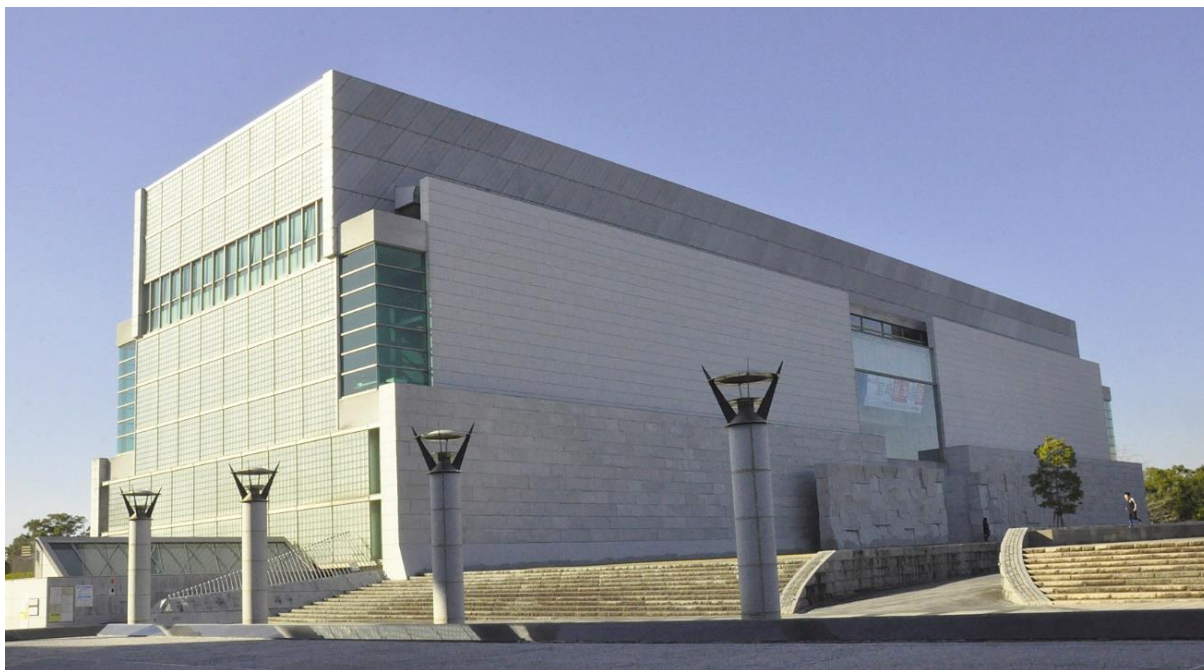


宮崎県立美術館



1995 年(平成7年)10月開館し、当初からのコンセプトである「県民に親しまれる開かれた美術館」を目指して様々な事業を展開しています。

瑛九をはじめとする郷土作家の作品や、ピカソやマグリット、ルオーなど海外作家の優れた作品を収蔵しており、それらを紹介するコレクション展はもちろん、特別展、各種教室や実技講座など年間を通して実施しています。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所： 宮崎県宮崎市船塚 3 丁目 210
- T E L： 0985-20-3792
- ホームページ： <http://www.miyazaki-archive.jp/bijutsu/>
- 観 覧 料： コレクション展は無料、特別展はそのつど定めます。
- 開 館 時 間： 10 時 00 分～18 時 00 分（入館は 17 時 30 分まで）
- 休 館 日： 毎週月曜日、国民の祝日の翌日、年末年始、メンテナンス休館日等
- 駐 車 場： 宮崎県総合文化公園駐車場 530 台（無料）
- 交 通
 - ◆ JR 宮崎駅から
 - ・「西 1 番のりば」発の宮崎交通バス 4 分、「山形屋前」で下車し、「ホテルルートイン宮崎橘通」（交番近く）で「文化公園」「古賀総合病院」「国富」「綾」「酒泉の杜」行等に乗換え 9 分、「文化公園」または「文化公園前」下車すぐ
 - ・「西 2 番のりば」発の宮崎交通バス（「古賀総合病院」「綾」「酒泉の杜」行）14 分、「文化公園前」下車すぐ
 - ・タクシーで約 15 分

◆ JR宮崎神宮駅から

- ・タクシーで約5分、徒歩で約20分

◆ 宮崎空港から

- ・「1番のりば」発の宮崎交通バス11分、「宮交シティ」で下車し、「3番のりば」で「古賀総合病院」「国富」「綾」「酒泉の杜」行等に乗換え20分、「文化公園前」下車すぐ
- ・「JR宮崎空港駅」発の列車10分程度、「宮崎」で下車し、JR宮崎駅からの案内と同様
- ・タクシーで約30分

◆ 宮崎西ICから車で約15分、宮崎ICから車で約20分

● コレクション展示[1階]

「宮崎県出身の作家の作品や、本県にゆかりのある作家の作品」「日本の美術の流れを知るために、ふさわしい作品」「海外のすぐれた作品」を収集方針として現在4,200点を超える作品を収蔵しています。その作品を、作家や時代、表現様式で様々なテーマを設定し、年間4回の展示替えを実施して紹介しています。



● 美術図書室[1階]

美術関係図書約4,600冊を備え、明るい雰囲気の中で自由に閲覧していただけます。サービスカウンターでは、図書をはじめ、美術に関する様々な質問や相談にお答えします。



● アートシアター

土曜日、日曜日、祝祭日に、美術館のオリジナル番組を放映しています。また特別展関連番組の放映や、県民の映像作品や表現活動の発表の場としての利用も行っています。

● 企画展示室[2階]

年間3~4回の特別展を開催。巡回展や企画展などを開催しています。

● 県民ギャラリー[2階]

美術作品の発表と鑑賞の場として広く県民の皆様に利用いただいています。



● 学芸員や美術館サポーターによる対応

随時、要望に応じて、コレクション展の見所や作品の味わい方について、クイズを解きながら、楽しく鑑賞できるプログラムや、館内をめぐりながら、美術館について学べるツアーも実施しています。（事前のご連絡と打合せが必要です。）

● 学習のポイント

日本の前衛美術の先駆者と言われ、自由で独創的な制作をつづけた瑛九の作品を核として、国内外の作品を体系的に収集しており、ピカソやマグリットなどの世界の巨匠たちの作品

にも出会えます。それらを年 4 回の展示替えをとおして紹介するコレクション展では、特に海外の作品では、シュルレアリスムの作品とイタリア彫刻が充実しており、これらをゆったりとした空間の中で鑑賞することができます。

また、本館では学芸員による展示解説も計画的に行っておりますので、事前にお問い合わせください。

● **施設の周辺情報**

〈宮崎神宮〉 徒歩で 10 分

〈宮崎科学技術館〉 車で 15 分

〈青島〉 車で 40 分

宮崎県総合博物館



1951（昭和 26）年に開館した宮崎県総合博物館は、1998（平成 10）年に体験型施設としてリニューアルを行いました。また、本館東側の民家園では、かやぶきの屋根の古い民家を公開展示しています。宮崎県の自然と歴史・民俗を一度に体感できる唯一の博物館です。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所： 宮崎県宮崎市神宮 2 丁目 4-4
- T E L： 0985-24-2071
- ホームページ： <http://www.miyazaki-archive.jp/museum/>
- 観 覧 料： 常設展は無料、特別展は内容によって有料
- 開 館 時 間： 9 時 00 分～17 時 00 分（入館は 16 時 30 分まで）
- 休 館 日： 毎週火曜日、国民の祝日の翌日、年末年始、特別整理・燻蒸期間等
- 駐 車 場： 第 1・2 駐車場 150 台（無料）
- 交 通： 車：宮崎西 IC から車で約 15 分、宮崎 IC から約 20 分
バス：「宮交シティ」で下車。「3 番のりば」で番線 300 番代のバス（「古賀総合病院」「綾・国富方面」行き等）に乗り換え 21 分、「博物館前」下車して徒歩 3 分。



● 常設展示室（自然史）〔1 階〕

宮崎の自然をテーマにした 1 階の常設展示室では、「宮崎の森」を再現しています。照葉樹林ジオラマには県内で見られる様々な動植物を配置し、さらに、「宮崎の大地」には、県内から産出した化石や岩石の展示があり、宮崎の自然をまるごと理解できます。



● みんなの情報室〔1 階〕

自然史や歴史に関する書籍、植物標本や岩石標本、民俗資料、ビデオ等の視聴覚資料があり、自由に見たり触ったりできます。宮崎県内外の自然史・歴史の情報を提供しています。

● 常設展示室（歴史・民俗）〔2 階〕

宮崎の旧石器時代から現代に至るまでの歴史について資料を展示する歴史展示室、国指定重要有形民俗文化財 2260 点のうち半数以上の民俗資料を展示する民俗展示室があり、宮崎の歴史を知り、人々の生活を体感できます。



● 特別展示室〔2 階〕

年間 3～4 回の特別展を開催。巡回展や企画展などを開催しています。

● 民家園

約 150 年から 200 年前に建てられた地方独特の建築様式をもった国指定重要文化財 2 棟、県指定有形文化財 2 棟の計 4 棟の民家を移築復元し、公開しています。



● 展示解説員による対応

展示解説員が常駐し、展示室の資料について団体等への詳しい解説を行っています。また、週末には「紙芝居」や「むかしのあそび」、「クイズラリー」などの様々な催しを週毎に行っています。

● 学習のポイント

1 階の自然史展示室には、宮崎の自然を特徴づける照葉樹林を表現したジオラマや標本、恐竜の全身骨格などを展示しています。2 階の歴史・民俗展示室には、触れる資料や模型、映像、検索機器を使って体感できる展示のほか、昭和 30 年代文化住宅、国指定重要有形民俗文化財の民具などを展示しています。

体験装置やシアターなどもあり、宮崎の自然や歴史、昔の人々の暮らしについて楽しく学習することができます。

本館に隣接する民家園には、江戸時代の民家 4 棟を移築復元しており、生活用具の展示とあわせて古い民家の雰囲気を感じ取れるようになっています。

＊本館では展示解説員による展示解説も行っております。事前にお問い合わせください。

● 施設の周辺情報

〈宮崎神宮〉 徒歩で 10 分

〈宮崎科学技術館〉 車で 15 分

〈青島〉 車で 40 分

宮崎県立西都原考古博物館



特別史跡西都原古墳群は、宮崎県の中央、西都市街地の西に位置する古墳群です。南北 4.2km・東西 2.6km にわたる台地上に、陵墓参考地の巨大古墳「男狭穂塚」・「女狭穂塚」をはじめとした 319 基の古墳が分布しています。

宮崎県立西都原考古博物館は、考古学専門のフィールドミュージアムとして、西都原古墳群の一角に 2004（平成 16）年 4 月に開館しました。

南九州の人々の生きた証を見つめる「人と歴史の博物館」、考古学の思想に基づき、ストーリーに沿った謎解きを展開する「考古博物館」と、様々な情報を検証する「考古学研究所」で構成。常新をテーマに常に新しい情報を展示しています。

以下はコロナ禍前の DATA 及び説明であり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、団体利用の受入れの制限、施設収容人数の制限、一部の施設やサービスを停止している場合があります。事前にお問い合わせください。

DATA

- 住 所： 宮崎県西都市大字三宅字西都原西 5670 番
- T E L： 0983-41-0041
- ホームページ： <http://saito-muse.pref.miyazaki.jp>
- 開館時間： 9 時 30 分～17 時 30 分（展示室入室は 17 時 00 分まで）
- 休館日： 月曜日（国民の祝日と重なるときは翌平日）、国民の祝日の翌日（土曜日）日曜日または休日にあたる時を除く）、12/28～1/4
- 入場料： 無料
- 駐車場： 無料
- 交通： 車：宮崎市内より国道 219 号線経由約 40 分、東九州自動車道西都 I.C から約 10 分

バス：宮交シティより「西都原考古博物館前」行きもしくは、「西都」行き
乗車約 70 分 「西都バスセンター」経由「西都原考古博物館前」で
下車（「西都バスセンター」からタクシーで約 10 分）

●展示室（地下 1 階）

展示室は常に更新されていく「考古博物館」エリアと、蓄積された情報を検索できる「考古学研究所」エリアがあります。考古博物館は「南九州の自然と人々の営み」「古墳時代前史」「前方後円墳の世界」「地下式横穴墓の世界」「古墳の終焉から律令期へ」「考古学の世界」の六つのテーマで構成されています。考古学研究所は博物館の中の仮想的「研究所」として、考古学の基礎的調査の方法や研究の過程を、多くの人々が追体験・再検証できる場となっています。



●館内施設

総合案内、ホール（300 名）、セミナー室（70 名）、ミュージアムショップ、図書室・
閲覧室、情報利用コーナー、喫茶ラウンジ、多目的トイレ、救護室

●古代生活体験館

古代生活体験館は、様々な体験プログラムをとおし
て、自然との共存、古代人の知恵と工夫、道具の利
用能力などを学び、文化財愛護の精神と生きる力を
身につけることを目指しています。
古代人の暮らしを体験学習する土器づくり、まが
玉づくり、竹笛づくり、火起こし、蜻蛉玉づくり
などの体験講座を準備しています。
（令和 3 年 1 月現在、体験メニューを一部制限し
ています。）



●学習のポイント

展示室（地下 1 階）では、本物の遺物に直接 触れることのできる展示があります。
石器、土器に触れることで古代人の知恵と工夫に迫ることができます。
さらに、隣接する古代生活体験館において、土器や石器、勾玉などをつくる体験をすること
によって、より理解を深めることができます。
団体（学校等）で申し込まれる場合は、博物館の見学、体験館での体験活動の計画について
は、予約の際に、受付スタッフにご相談ください。（予約は原則、ご利用の 1 か月前まで）
・ボランティアによる展示解説（事前要申込み。）
・古代生活体験館（事前予約なしで、いつでも体験可。）

●施設の周辺情報

〈西都原古墳群〉 西都原ガイダンスセンター このはな館 車で 5 分
〈宮崎市フェニックス自然動物園〉 車で 30 分
〈綾町・照葉大吊橋〉 車で 60 分